

東京都立大学 法科大学院

2024年度入学者選抜試験問題 出題趣旨（3年履修課程）

小論文

東京都立大学法科大学院では、複雑な社会現象に高い関心を示し、それを的確に把握したうえで分析・判断するための論理的思考力を有するとともに、それを的確に表現することができる学生を求めている。

2023年（2024年度入試）に実施した法学者未修選抜では、児玉聡「喫煙はどこまで個人の自由か——喫煙の倫理学」児玉聡編『タバコ吸ってもいいですか——喫煙規制と自由の相剋』（信山社、2020年）3頁～27頁を素材とした。受験者には、①分煙をめぐる1980年代の議論と対比させながら、今日のその有り様を説明すること、②J・S・ミルのパターナリズムやリーガル・モラリズムとの関係で、喫煙規制がいかなる評価を与えられるかを説明することを求め、それらにかかる整理や分析を時間・分量の制約の中で過不足なく表現することができるかを問うた。

以上